

○教育費	教育用財産管理費：学校施設整備基金積立分増……………	2億円
	小学校管理費：要保護・準要保護就学援助費増（生活困窮）……………	85万円
	特別支援教育就学援助費増……………	11万7千円
	中学校管理費：要保護・準要保護就学援助費増（生活困窮）……………	24万円
	特別支援教育就学援助費増……………	7万1千円
	公民館費：公民館ホール音響施設改修増（公共投資臨時交付金）……………	700万円
	学校給食費：給食センター厨房設備改修（経済危機対策臨時交付金）……………	1,400万円

主 な 質 疑

- ◎：景気浮揚策の国から来る予算が約1億5,000万円、今後予定されている事業のうち前倒し分がどれ位あるのか。
- ▲：地域活性化経済危機対策臨時交付金の内、22年度予定の滞納整理システムの導入事業、22年度以降予定の給食センターの厨房関係事業、地域活性化・公共投資臨時交付金に22年度までに計画していた公民館ホール音響施設改修工事を本年度分に追加して夫々前倒しする。
- ◎：三俣地域振興対策費のうちの都市再生整備計画策定350万円の事業内容は。
- ▲：都市再生事業は、補助金40%で道の駅（情報発信設備）、八木沢スポーツ公園、周遊散策路である。
- ◎：湯沢町都市施設公社は3月末に解散と云っていたが、この度10月に解散との説明だがその経緯は。
- ▲：県へ一般財団法人の申請を3月17日、その後認定等審議会の答申を8月25日に受けた。これまでに6ヶ月経過したが何時許可が下りるか解らなかった。
- ◎：学校施設整備基金は現在7億円積立られるが、目的をある程度の額に定めるのか。
- ▲：基金として理想を言えば10億円を積み立てたい。
- ◎：情報化維持費の滞納管理システム・農地台帳システムを何故別けて改修しなければならないのか。また全て随意契約だが、適正な価格とは誰が判断するのか。
- ▲：既設のサーバー機が7年経過して耐用年数を過ぎ老朽化していることから入れ替える。当該システムを2社が夫々管理している。この予算額はあくまでも概算金額で、まだ金額は確定していない。適正な金額は解らないが、担当者と業者とで協議して決まる。

21.9 平成21年度 特別会計補正予算

平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 賛成全員で可決

歳入歳出予算にそれぞれ75万3千円を追加するもの。主なものは介護従事者処遇改善臨時特例交付金96万3千円、療養給付費等で1,411万3千円の歳入があったので、基金からの繰り入れ金を1,415万9千円減じた。

平成21年度老人保健特別会計補正予算（第1号） 賛成全員で可決

歳入歳出予算からそれぞれ660万6千円を減ずるもの。これは精算分の予算であり、医療費の支払いも少ないことから、当初予算を減額するものである。

平成21年度介護保険特別会計補正予算（第1号） 賛成全員で可決

既定の歳入歳出予算にそれぞれ2,617万7千円を追加する。前年繰越金が3,856万9千円出たので、準備基金からの繰り入れ金を1,322万6千円減じ、さらに一般会計へ1,553万6千円を返還し、そのほかの支出の精算後残る828万8千円を基金に積み立てるもの。

平成21年度病院事業特別会計補正予算（第1号） 賛成全員で可決

職員給与のうち期末手当について支給期ごとに0.2月分を削減することに伴い、給与費を9万8千円削減するもの。

平成21年度下水道特別会計補正予算（第1号） 賛成全員で可決

歳入歳出予算にそれぞれ2,803万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を11億1,962万5千円とするもの。歳入の主なものは繰越金2,713万5千円の増、歳出の主なものは、人事異動による職員の給料、手当等341万7千円及び、施設改修基金積み立て金1,496万6千円の増、公共下水道費・処理場管理費の修繕費400万円の増、建設費の委託料560万1千円を増額するもの。

平成21年度水道事業会計補正予算（第1号） 賛成全員で可決

収益的支出の事業費用・営業費に1,452万2千円を追加し事業費用総額を3億9,873万7千円とするもので、収益的支出の主なものは原水及び浄水費の修繕費200万円の増、配水及び給水費の修繕費300万円の増、職員の給料、手当等952万2千円を増額するもの。